

中 コミュニティ・スクールだより

釧路市立共栄中学校 コミュニティ・スクールだより 第2号

発行日：平成27年9月4日（金） 発行者：コミュニティ・スクール事務局



今年度2回目の推進委員会が8月27日（木）に開催されました。今回は、「学校と地域とのつながりについて」と「共栄中学校のコミュニティ・スクールで目指す子ども像」について協議されました。学校と地域とのつながりについて、事務局からは本校が地域と関わりのある行事について説明され、その後、齋藤主事・西館社教主事を中心に2グループに分かれ、「共栄中学校区の子どもたちに対して、こんな子どもになってもらいたい」という「**目指す子ども像**」について意見がだされ、最後に2グループの考えについて意見交流がおこなわれました。

目指す子ども像に向かって

コミュニティ・スクールの根幹となる「目指す子ども像」について以下のような意見がだされました。

- ・子どもたちが夢と目標をしっかり持って生活することが大切であり、達成のためには主体性を持ち、礼儀正しさが必要となる。
- ・社会に出てしっかりと生きるためには、子ども達の「自主・自律」が求められるのではないかな。
- ・地域の一員として、自ら地域と繋がるといった地域との関わりについて。
- ・子どもが自立して判断力を持って主体的に行動でき、人との繋がりについて。
- ・「地域の中で学び、繋がり主体的に行動できる子ども」を育てていければ良いのではないだろうか。

第3回推進委員会では、話し合われたことについてまとめ、具体的にどのような活動をしていくか協議されます。



学校と地域との関わりについて

コミュニティ・スクールは、地域と学校が協力して子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。地域との関わりを持つためにどのような取り組みがあるか、学校から地域の方々へ期待していることや今現在、学校と地域が協力できることが話われ以下のような意見がだされました。

学校での活動

- ・総合的な学習の時間における職場体験学習の受入れや出前講座での講話
→内容：共栄地区の歴史等
- ・地域の方々と合同で地域清掃を実施して、交流を図りたい
- ・図書ボランティアとして、図書室の本の整理を生徒と共にしてもらいたい
- ・授業で畑作業をしているが、経験のある方に協力していただきたい
- ・生徒の登下校の安全性を高める取り組み
- ・教材作成の補助
- ・本校の中庭の手入れ等

地域での活動

- ・地域や町内会で開催される祭りや行事に様々な人達が参加をする
- ・子どもが主体となり柳町公園の花壇の整備をしていく

子どもたちに期待すること

- ・携帯電話やスマートフォンの使用に関わるルール作り
- ・テレビやゲーム・インターネットの使用時間
- ・規則正しい生活習慣の確立

→ **ノーゲームDAY
の設定**

今後は、地域の方々や学校が共に信頼しあって、それぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支えていくために、地域の方々や参加しやすい環境を整えていくことが課題となってきます。

学校支援ボランティア

現在、国語（書写）の授業時間に学校支援ボランティアとして保護者の方が来校され、授業のサポートをしてくださっています。学校支援ボランティアは、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの教育のために、学校の要請に応じ、学校の教育活動や環境整備などを支援するボランティア活動のことです。共栄中学校では、学校支援ボランティアの方々や連携を図り、学校と地域との関係をより築いていきたいと考えております。多くの方々のご参加、ご協力をお待ちしております。

